薬剤部新人研修プログラム

教育方針

市立秋田総合病院薬剤部の理念と基本方針

市立秋田総合病院薬剤部では、市立秋田総合病院の理念に従い、患者さんに良質で安全な医療を提供するため、課題に対応できる病院薬剤師の育成を目標に新人教育を行っております。この研修プログラムでは、病院薬剤師として活躍していくための基本業務の習得を目指しています。

研修の概要

研修期間

1年

一般目標

- 当院薬剤部のルールを理解し、正確な業務を実践する。
- 他部署との連携も含めた、薬剤業務の修得。

到達目標

- 院内システムを利用した薬品情報の検索方法を説明できる。
- 調剤内規などの業務上のルールの把握と確認。
- 他部署との関わりを必要とする内容を説明できる。
- ルールに従い自立した薬剤業務が実践できる。

主な指導者

- 調剤エリア主任、注射エリア主任、製剤エリア主任、DI室主任
- 薬剤部職員
- 薬剤部長(最終認証者)

評価法

- 内外用調剤、注射剤調剤、無菌調製については、各エリア主任が業務の修得状況について見極める。
- 日直・当直時の中毒対応についてDI室主任が訓練を行い、習得度を見極める。
- 各エリアの業務内容について日直・当直時に必要な内容について確認試験を行い評価する。
- 薬剤部長が実施研修終了後に最終認証する。

新人研修プログラム概要（初年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中央業務研修					調剤・注射・混注業務			※				
病棟												
配属（調剤エリア）												
院内研修 感染・安全等												

※中央業務習得状況確認（薬剤部技師全員）